

# 太白

TAIHAKU

## 災害時におけるお客さまと職員の安全確保について ～平時の訓練、有事の対応～

一般財団法人東北電気保安協会 総務本部総務部副部長 大内 浩

東北電気保安協会は、「電気の適切かつ安全な利用及びエネルギー使用の合理化を促進する業務を行うことにより、公共の利益の増進に寄与する」ことを目的に、昭和41年に設立された組織です。

現在は、本部の他、東北6県と新潟県に、7事業本部47事業所があり、約1,500名の職員がいます。

当協会の主な業務は、調査業務、保安管理業務及び広報業務です。

調査業務は、住宅や商店などの電気の安全を診断するもので、東北電力ネットワーク株式会社から委託を受け、調査員が4年に1回ご家庭やお店等を訪問し、屋内配線等の安全調査を行っています。

保安管理業務は、工場やビルなどの電気設備の安全を守るもので、工場等においては、電気設備の保安に関して、国家資格の電気主任技術者の選任が法令で義務付けられていますが、当協会は、お客さまと契約を締結し、この電気主任技術者の代務を行っています。

広報業務は、電気の安全に関して、地域の方々や設備の管理者に対する啓発・周知を行うとともに、電気の上手な使い方などについて相談に応じています。

本部は、仙台市太白区あすと長町にあり、4階建てビルに、本部の他、宮城事業本部、仙台南事業所等が入り、ビル全体の収容人員は、約190名となっています。

当ビルでも、毎年、関係法令、規程等に基づき、

消防通報、初期消火、避難（誘導）及び救護等の防火訓練を行っており、2022年11月の「秋季火災予防運動期間」に合わせての訓練は、事前に、太白消防署からご提供を受けた消火器の使用方法や消防通報要領等の動画に関するサイトのリーフレットを協会のイントラに掲示し、動画を視聴できるようにして、目で見て学び、実際に手にしてやってみるとの要領で実施しました。

職員からは、「動画の視聴と実際の消火器等使用訓練により、使用方法や通報要領等がわかりやすく理解できた。」等の声がありました。

太白消防署からの資料ご提供に対して、御礼を申し上げます。

一方、避難行動については、課題もありました。

1階非常口は幅が狭く、外側道路の安全を確認してから出るようになるため、同所がボトルネックとなり、避難する職員が一時、詰まってしまう状態が生じました。

これは、一斉に避難行動がとられた表れでもありましたが、火災発生時の避難は、一刻を争うものであり、転倒等を防止し、迅速に避難するためには、的確な避難指示と避難誘導及び職員同士の声掛けによる混乱防止といった対応が重要であることが改めて認識され、教訓とすることとしています。

今後も職員一同、防火意識の向上を図り、火災等発生時には、来訪しているお客さまと職員の命を守る行動ができるよう、平時の訓練を行い、有事の対応に備えたいと思っています。



太白消防署から提供を受けたリーフレット



非常口へ向かっての避難状況



非常口から屋外への避難状況



消火器使用訓練状況